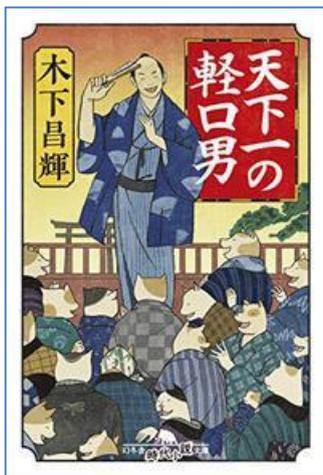




# 木下昌輝講演会

サイン会  
も開催し  
ます！

令和元年7月、木下昌輝さんの『天下一の軽口男』が、令和最初の第7回「大阪ほんま本大賞」(Osaka Book One Project[略称:OBOP]主催)に選ばれました。今回の講演会では、受賞作の読みどころや最近の著作についてお話しいたします。



木下昌輝/著 (幻冬舎時代小説文庫)

Osaka Book One Project(略称:OBOP)と

「大阪ほんま本大賞」について

「大阪の本屋と問屋が垣根を越えて一冊のほんまにええ本を売ろう」と集まった大阪の文学賞で、2013年に制定されました。選書の条件は、①大阪に由来のある著者、物語であること ②文庫であること ③著者が存命であることの3点。特徴は、売り上げの一部を使用し、大阪府社会福祉協議会を通じて、児童養護施設へ本の寄贈を行っている点です。図書の選定を児童養護施設に依頼し、子どもたちに選ぶ楽しさ、本を読む楽しさを伝えています。

日時: 令和2(2020)年2月24日(月・休)

14時～15時30分 (開場:13時30分)

会場: 大阪市立中央図書館 5階大会議室

定員: 300名(当日先着順) 参加費無料



〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2  
OsakaMetro千日前線・長堀鶴見緑地線「西長堀」⑦号出口すぐ  
問い合わせ ☎06-6539-3326

## 講師プロフィール

1974年 奈良県生まれ。近畿大学理工学部建築学科卒業。  
2012年『宇喜多の捨て嫁』にて オール読物新人賞、および高校生直木賞を受賞。  
2015年『咲くやこの花賞 文芸・その他部門(小説)受賞。』  
『人魚ノ肉』にて山田風太郎賞候補、および本屋が選ぶ時代小説大賞候補となる。  
2017年『敵の名は、宮本武蔵』、2018年『宇喜多の楽土』で直木賞候補となる。  
2019年上方落語の祖で日本初のお笑い芸人・米沢彦八の生涯を描いた『天下一の軽口男』で大阪ほんま本大賞・『絵金、闇を塗る』で野村胡堂文学賞を受賞。